

東リ株式会社

2023年3月期 決算説明会

2023年6月5日（伊丹本社／Zoomウェビナー開催）

2023年3月期 決算概要

当社グループを取り巻く事業環境	P.3
連結決算概要	P.4
原材料価格の上昇と販売価格改定の進捗	P.5
東リグループの製品分野別 連結売上高構成	P.6
連結営業利益率 及び 製品分野別連結売上高の推移	P.7
連結営業利益 増減要因	P.8
連結貸借対照表	P.9
連結キャッシュ・フロー計算書	P.10
連結主要指標の推移(1)(2)	P.11-12
環境負荷低減目標とその進捗	P.13
株価・出来高の推移	P.14

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」期間設定の修正について

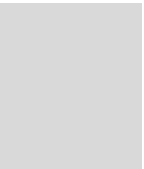
期間設定修正の背景	P.16
期間設定修正の内容	P.17-18
「SHINKA Plus ONE」トピックス①②	P.19-20

2024年3月期 業績見通し

連結業績見通し	P.22
連結営業利益率 及び 製品分野別連結売上高の見通し	P.23
投資計画	P.24
配当の状況(連結ベース)	P.25

Appendix

会社概要	P.29
沿革	P.30
国内及び海外事業拠点	P.31
東リグループの事業体系	P.32
東リグループの特徴と強み	P.33
東リグループのESG経営	P.34



2023年3月期 決算概要

国内建設市場動向

建築着工統計	新築（面積） （前年比 ※1）	リフォーム リニューアル（金額） （前年比 ※2）
住宅	+2.6%	△2.5%
非住宅	+6.9%	△4.1%
事務所	+25.7%	△0.7%
店舗・宿泊施設	△2.5%	△11.2%
学校	△12.8%	+13.9%
医療・福祉施設	+16.3%	△9.1%

Point

- ▶ 新築・リフォームともに、年度前半は好調に推移したものの、後半にかけて動きが鈍り低調。
- ▶ 大都市圏で進行中の大型再開発案件により着工面積は大幅増。オフィスの入退去に伴うリニューアル工事は後半にかけて低調。
- ▶ インバウンド需要による回復の兆しはあるものの、足元は低調。
- ▶ 新築は低調。リニューアルは大型物件を中心に好調に推移。
- ▶ 年度前半から中盤にかけて新築需要が好調に推移。

出典：国土交通省「建築着工統計調査」及び「建築物リフォーム・リニューアル調査」

※1 当社事業との関連指標として、住宅は7ヶ月、非住宅は9-12ヶ月後方ヘシフトさせた数値

※2 2022年4月～2022年12月累計の前年比

その他事業環境

地政学リスクの高まり

気候変動リスクの高まり

デジタルソリューションの拡大

Point

- ▶ 国際紛争による海上輸送事情などを起因とする原材料価格の上昇や、材料調達リスクの高まり。
- ▶ 社会的関心の高まりによる、商品選定基準への影響増大。
- ▶ 属人化する業務の自動化や、付加価値提供に向けたデジタルツールの浸透。

2023年3月期 連結決算概要

(百万円)

	2022年3月期		2023年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前期比	前年差
売上高	88,513	—	95,230	—	7.6%	6,716
売上総利益	24,124	27.3%	27,177	28.5%	12.7%	3,052
販売費及び一般管理費	23,246	26.3%	23,646	24.8%	1.7%	399
営業利益	878	1.0%	3,531	3.7%	302.2%	2,653
経常利益	1,244	1.4%	3,640	3.8%	192.5%	2,395
親会社株主に帰属する当期純利益	720	0.8%	2,562	2.7%	255.8%	1,842
総資産経常利益率 (ROA)	1.6%	—	4.4%	—	—	+2.8ポイント
自己資本当期純利益率 (ROE)	1.9%	—	6.5%	—	—	+4.6ポイント

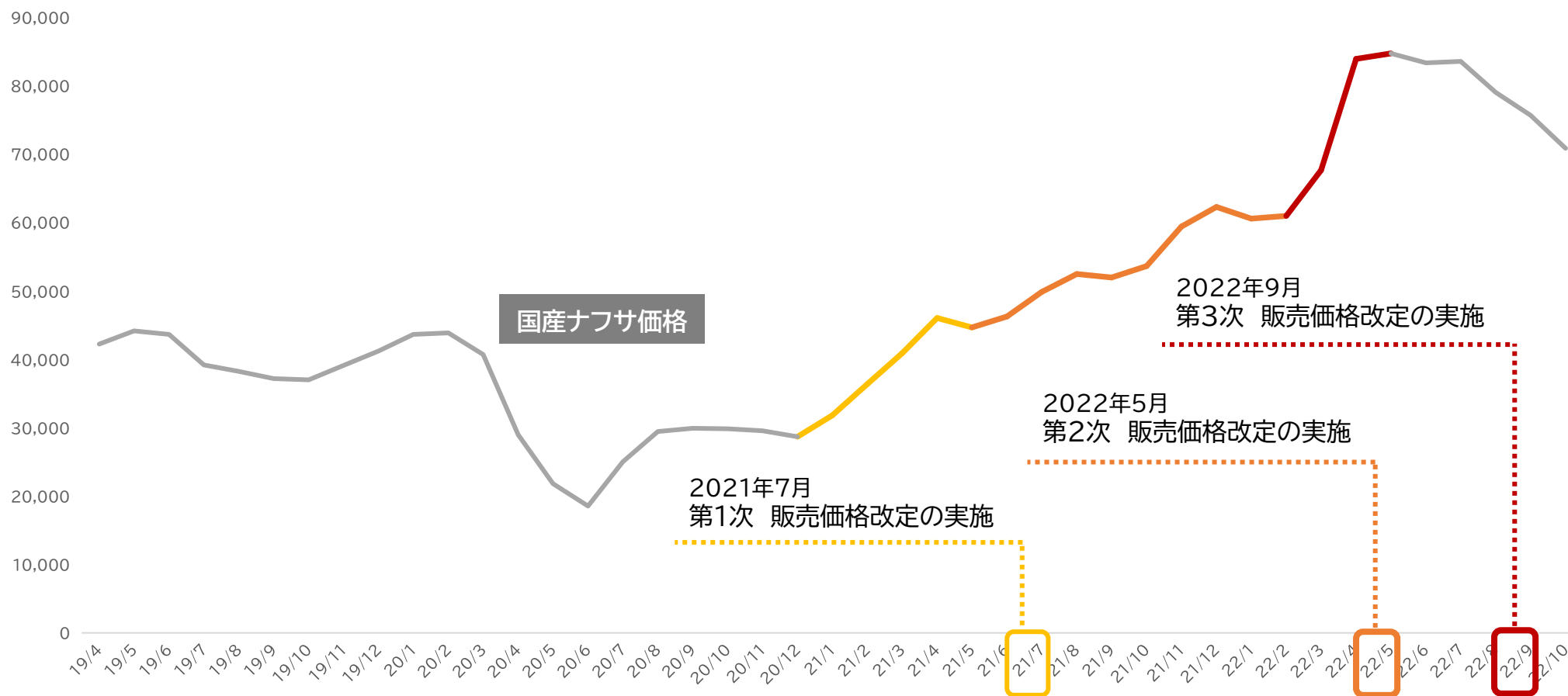
Point

- 販売価格改定および製造原価低減効果による売上高・売上総利益の増加。
- 営業活動の活発化、設備投資の増加に伴う販管費の増加。
- 利益が大幅に増加したことにより、ROA・ROEは上昇。

- 2021年春先からの原材料価格の数次にわたる高騰に対して、2年間で3度の販売価格改定を実施しました。

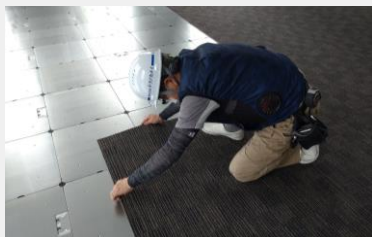
国産ナフサ価格の推移 と 販売価格改定の実施時期

(単位:円/KL) (※)国産ナフサ価格 … 出典:「財務省貿易統計」より



東リグループの製品分野別 連結売上高構成

工事業

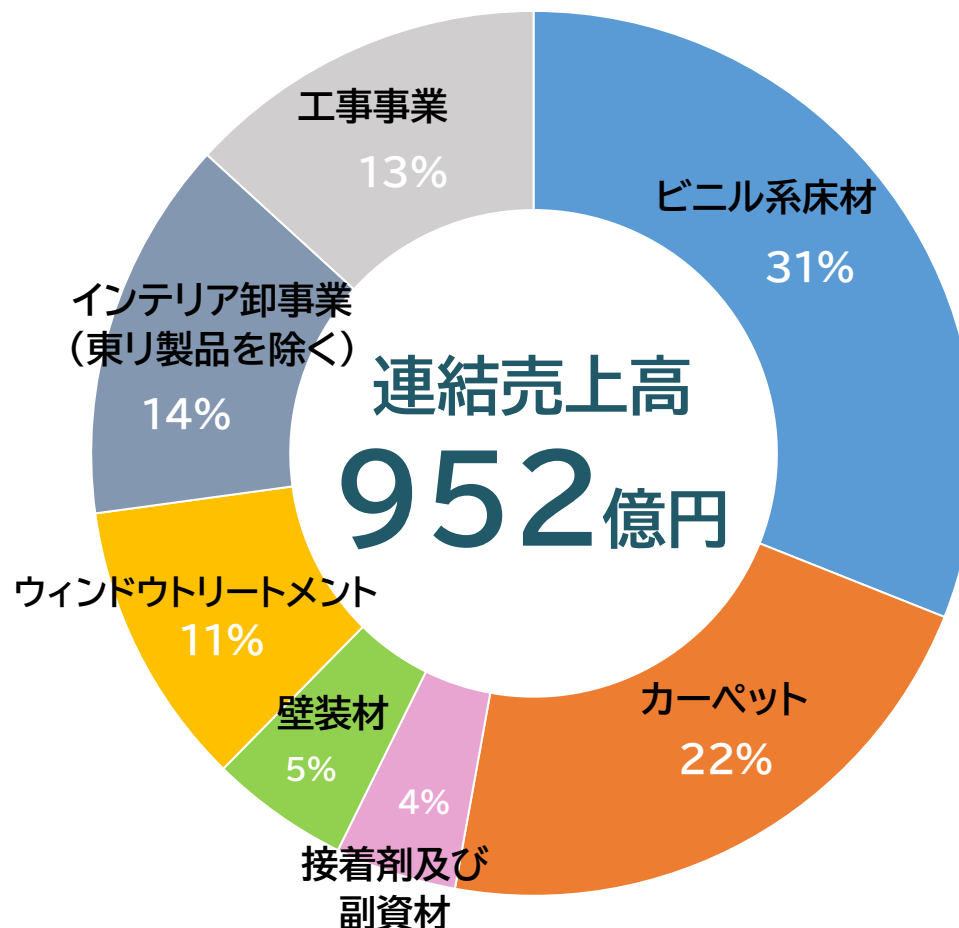


インテリア関連製品の施工等

インテリア卸事業 (東リ製品を除く)



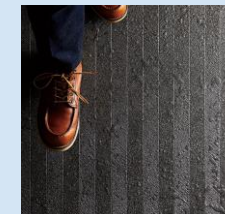
他社インテリア関連製品の仕入れ販売



ビニル系床材

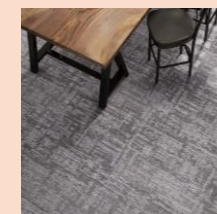


ビニル床タイル

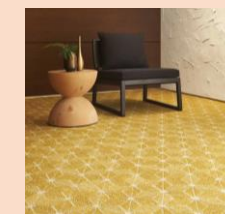


ビニル床シート

カーペット



タイルカーペット

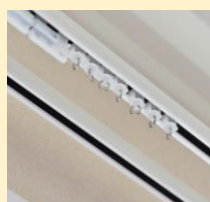


ロールカーペット

ウィンドウトリートメント



カーテン

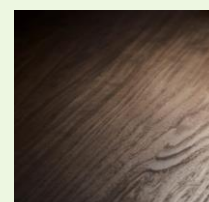


カーテンレール・ブラインド等(仕入商品)

壁装材



ビニル壁紙



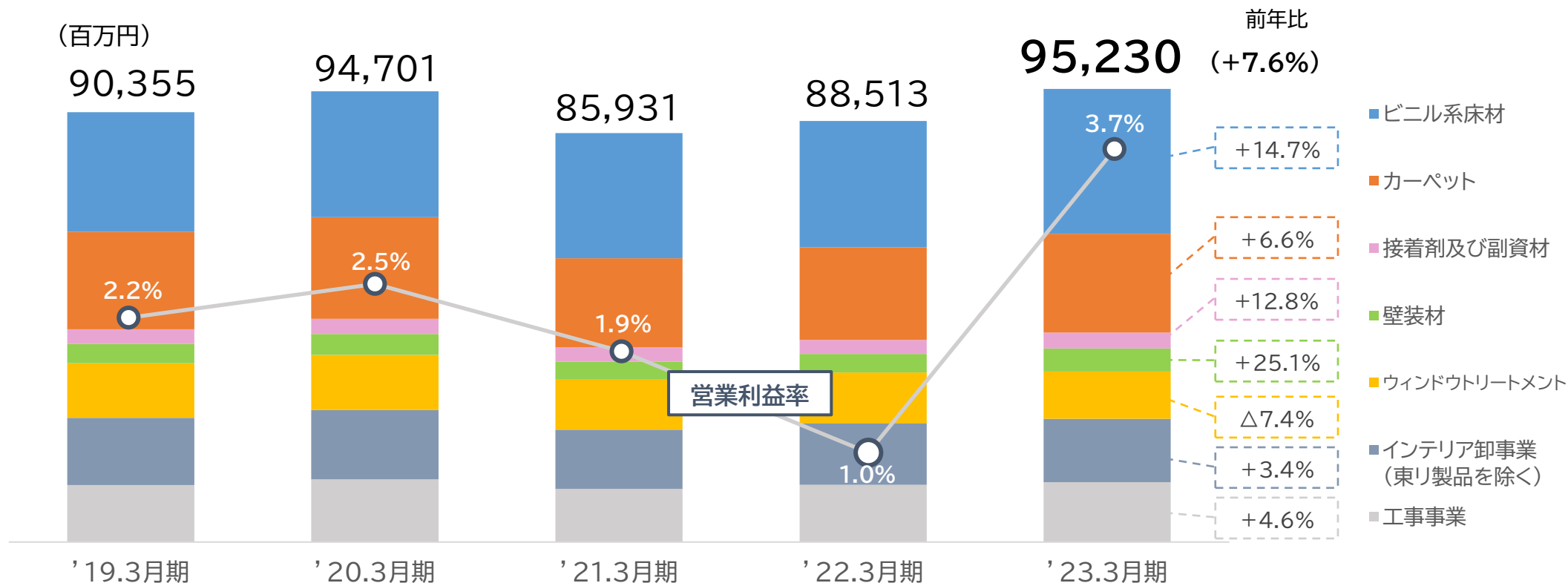
不燃化粧仕上げ材
リアルデコ

接着剤及び副資材



ビニル系床材用／カーペット用 接着剤

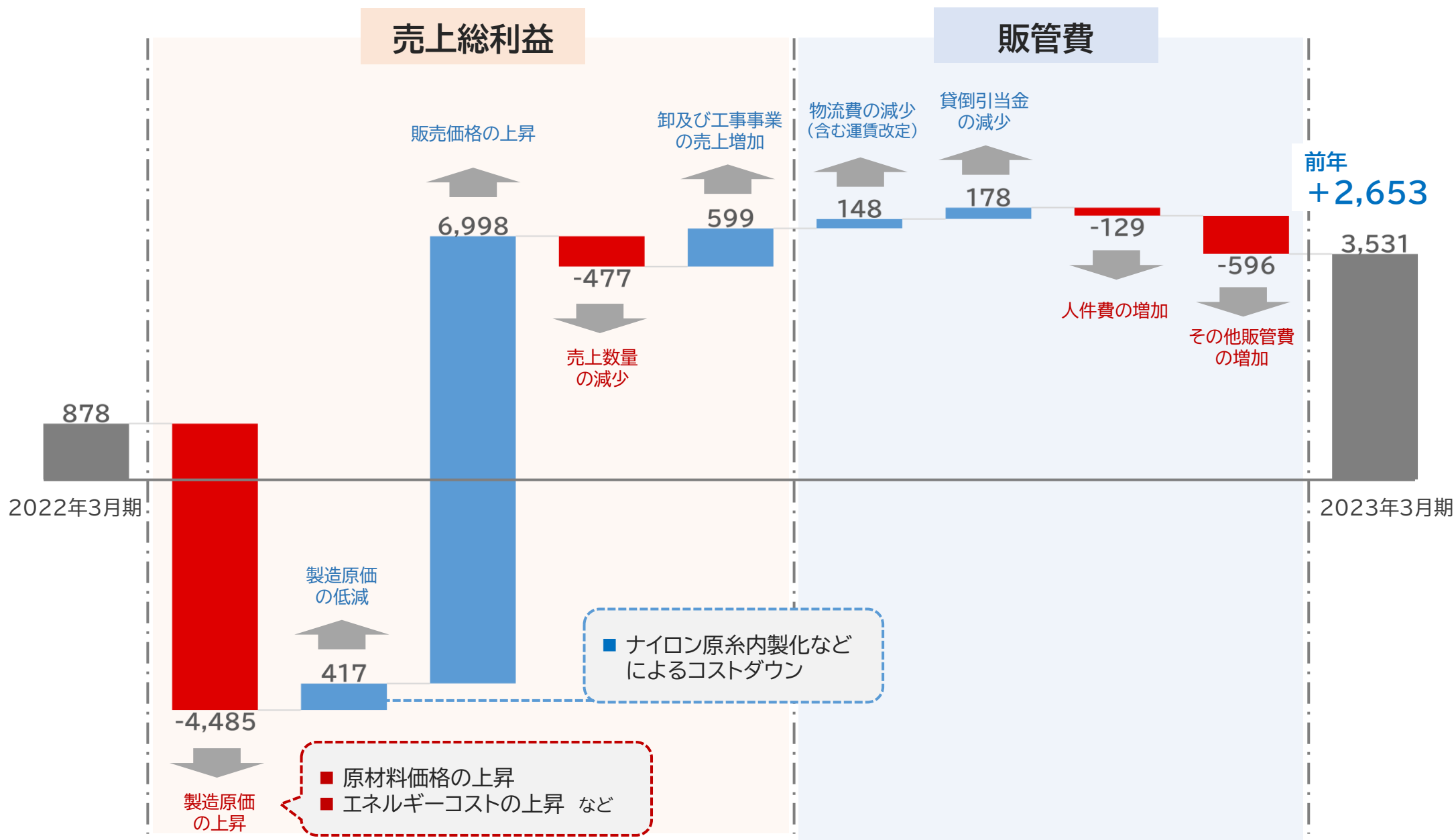
連結営業利益率 及び 製品分野別連結売上高の推移



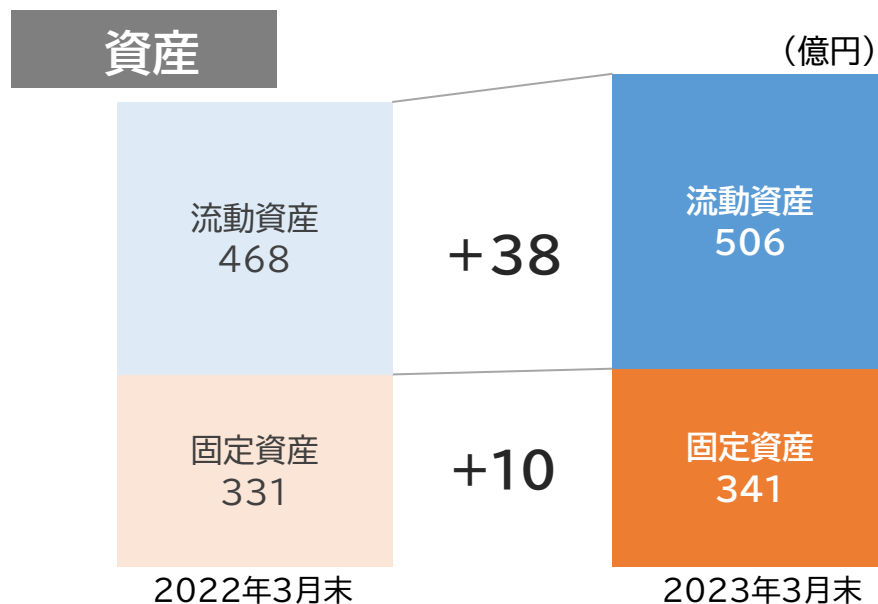
Point

- 全体 : 新製品を中心とした販促活動の強化と、5月以降の販売価格改定に注力したことにより、売上高は大幅に伸長。
- ビニル系床材 : 主力製品のビニル床タイル「ロイヤルシリーズ」やビニル床シート「NSシート」を中心に、前年より増加。
- カーペット : 環境対応ニーズの高まるオフィス市場に向けたタイルカーペットが市場浸透し、売上高は前年より増加したものの、住宅・非住宅向けタイルカーペット全体の販売数量は弱含みで推移。
- 壁装材 : 堅調な住宅市場向け製品や、高意匠独自品が全体を牽引し、前年より大幅に増加。
- ウィンドウトリートメント : 医療福祉施設向けに販促活動を強化したものの、前年より減少。
- インテリア卸及び工事事業 : 地域に密着したきめ細かいサービスの向上に努めたことにより、前年より増加。

連結営業利益 増減要因



連結貸借対照表



Point

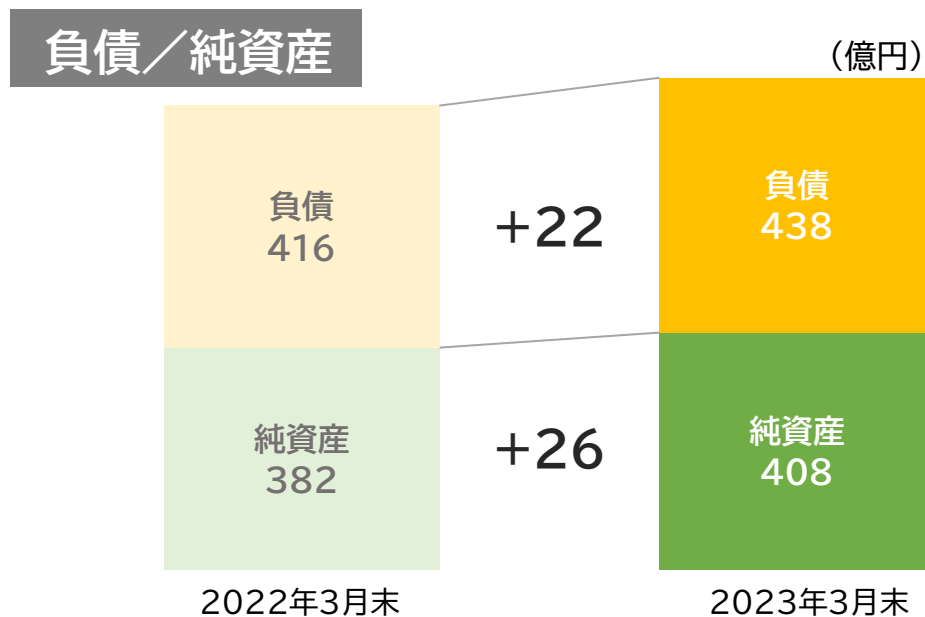
<流動資産>

- 売上債権の増加 +25
ー売上高の増加による

- 棚卸資産の増加 +21
ー棚卸資産評価額の上昇による

<固定資産>

- 有形固定資産の増加 +9
ー広化東リフロア㈱の新工場関連設備投資 等による



Point

<負債>

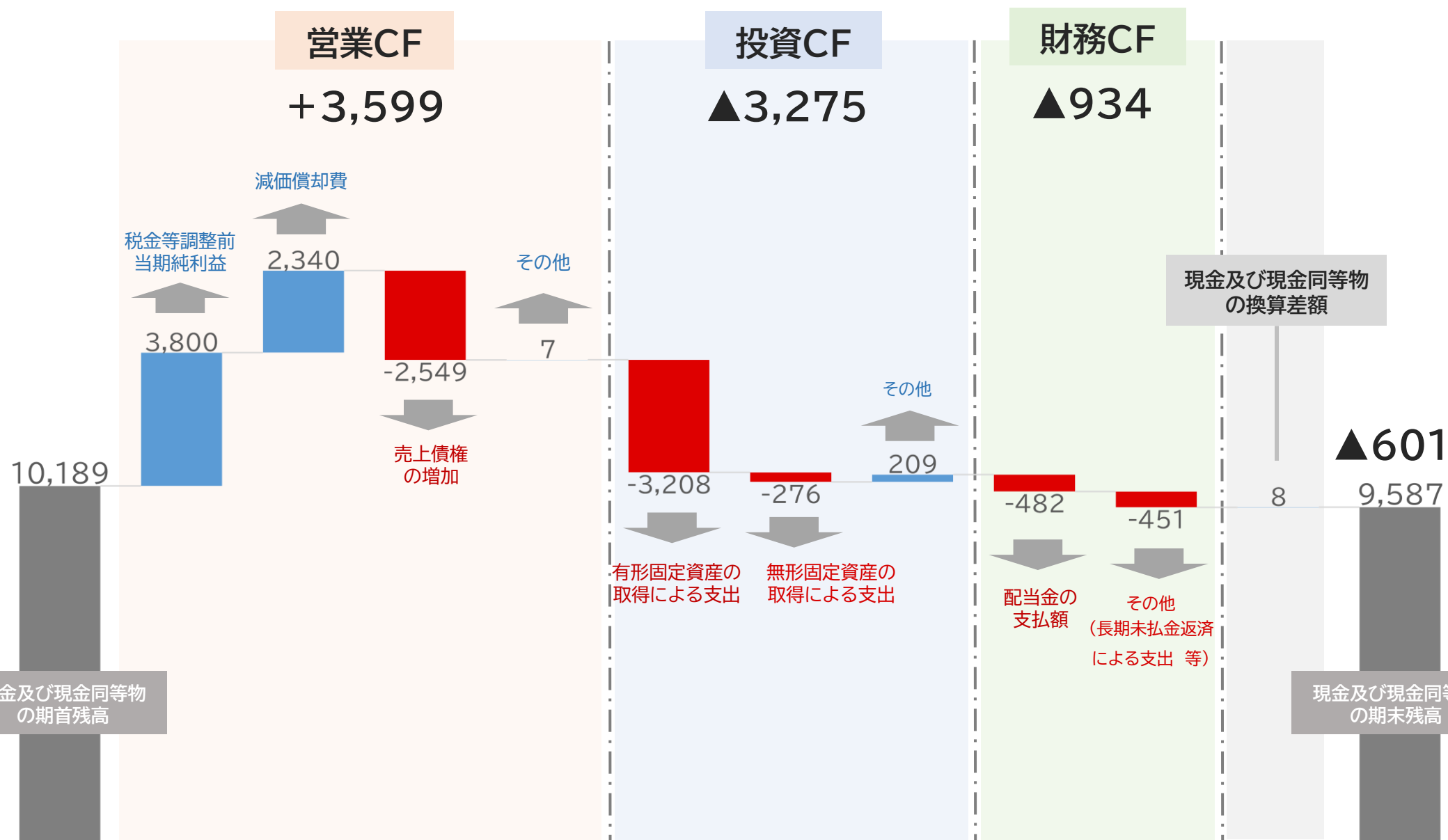
- 仕入債務の増加 +12
ー主として原材料価格の上昇による

- 未払法人税等の増加 +7

<純資産>

- 利益剰余金の増加 +20

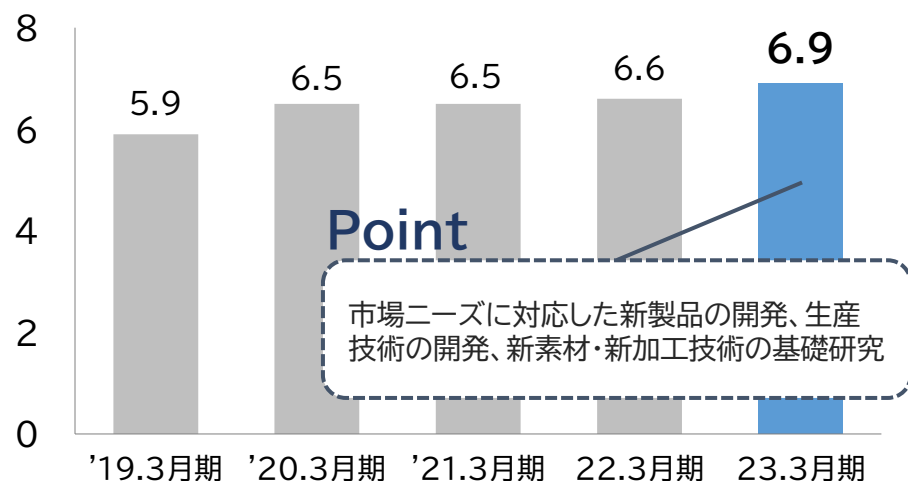
連結キャッシュ・フロー計算書



連結主要指標の推移(1)

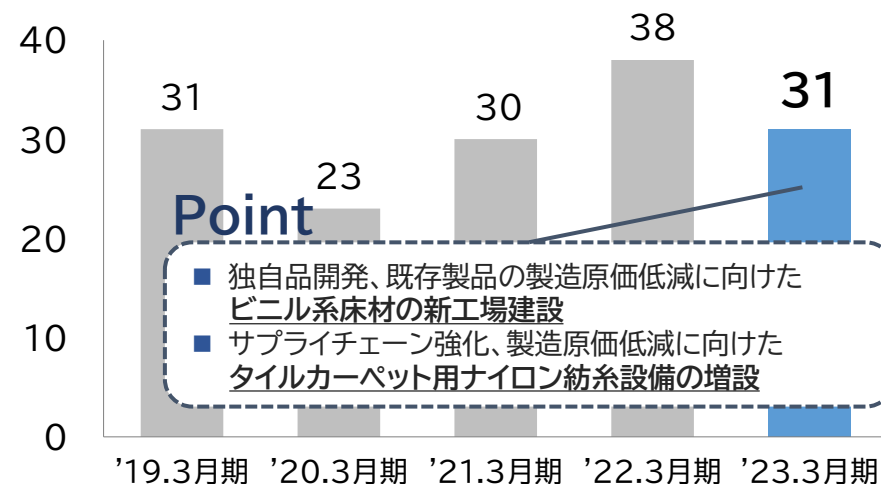
研究開発費

(億円)



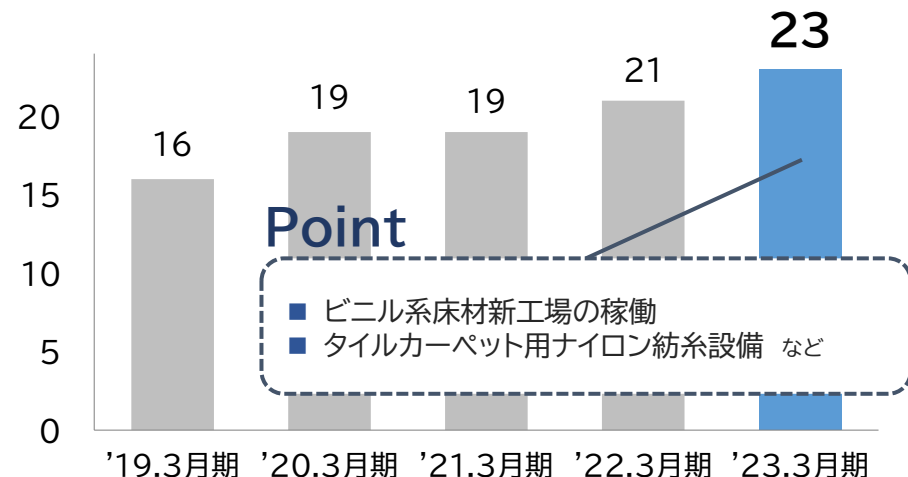
設備投資額

(億円)



減価償却費

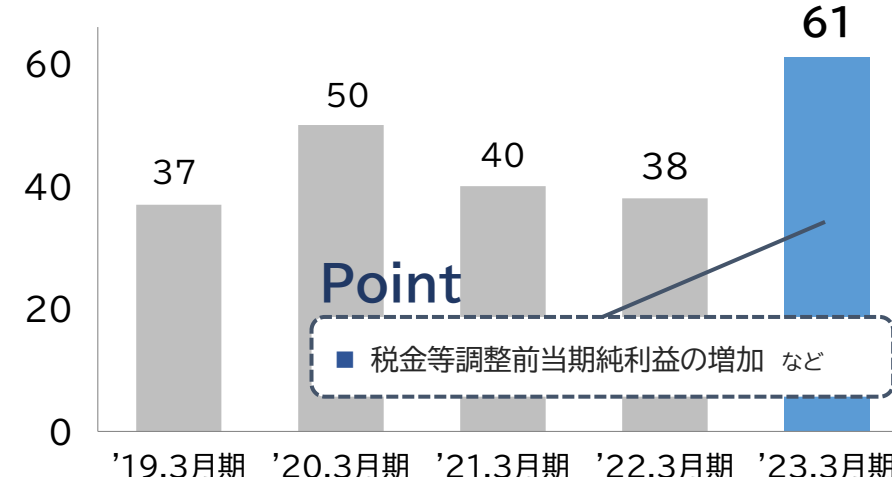
(億円)



※キャッシュ・フローベース

EBITDA

(億円)

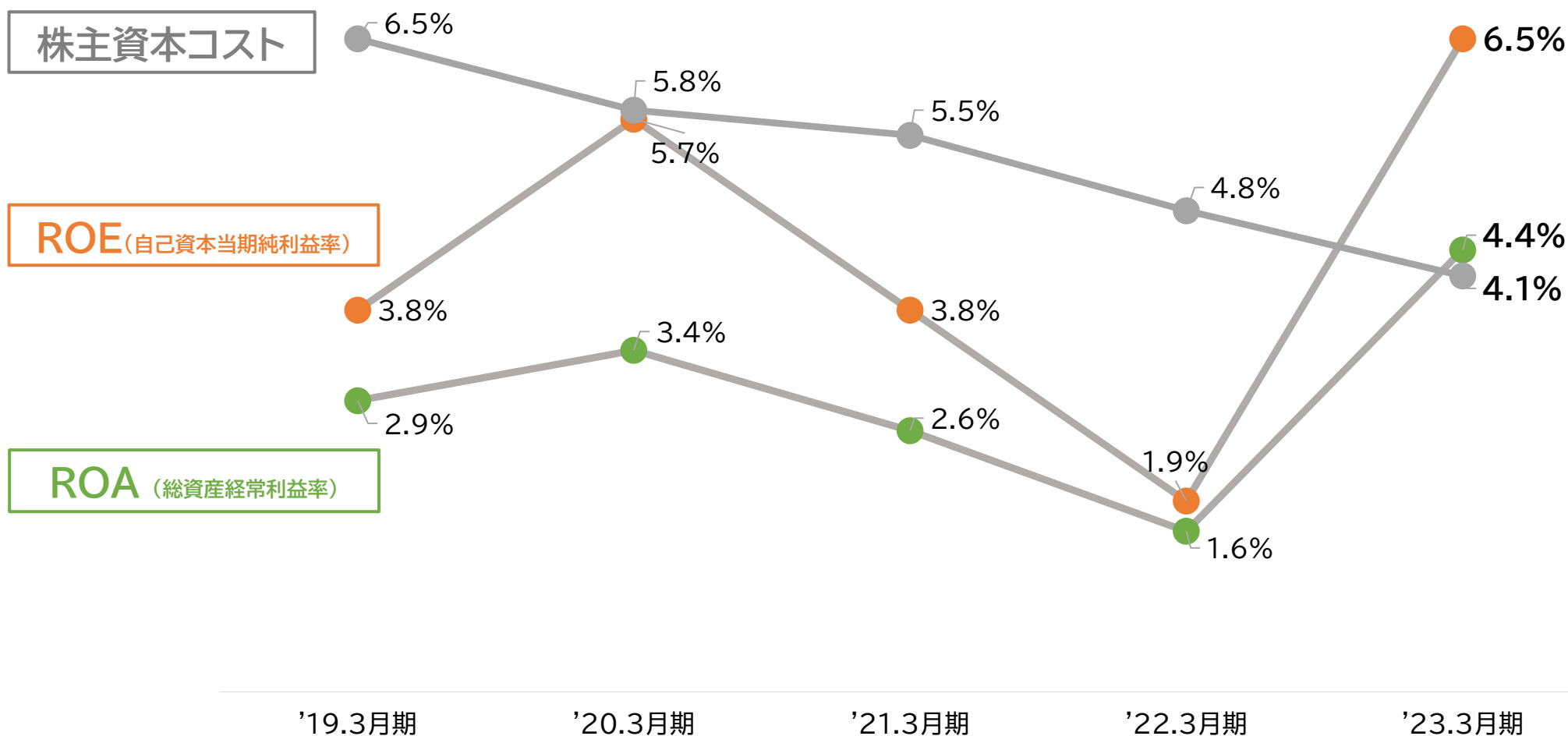


※EBITDA：税金等調整前当期純利益－受取利息＋支払利息＋減価償却費＋減損損失

連結主要指標の推移(2)

ROA / ROE / 株主資本コスト 推移

- 経常利益の増加(前年比+192.5%)
- 当期純利益の増加(前年比+255.8%)
- 総資産回転率・財務レバレッジ 横ばい



CO₂排出量 ・ リサイクル率 ・ 産業廃棄物排出量

項目	中期目標 (2025年3月期目標)	2023年3月期 実績	長期目標 (2031年3月期目標)
CO ₂ 排出量(スコープ1.2 ※1) (2021年3月期比)	—	2.5% 増加	30%削減
リサイクル率 ※2	85%以上	79.8%	90%以上
産業廃棄物排出量 ※3 (2020年3月期比)	40%以上削減	20.5% 削減	60%以上削減

※1 スコープ1：東リグループの燃料使用にともなう直接排出

スコープ2：東リグループが他社から購入した電気の使用にともなう間接排出

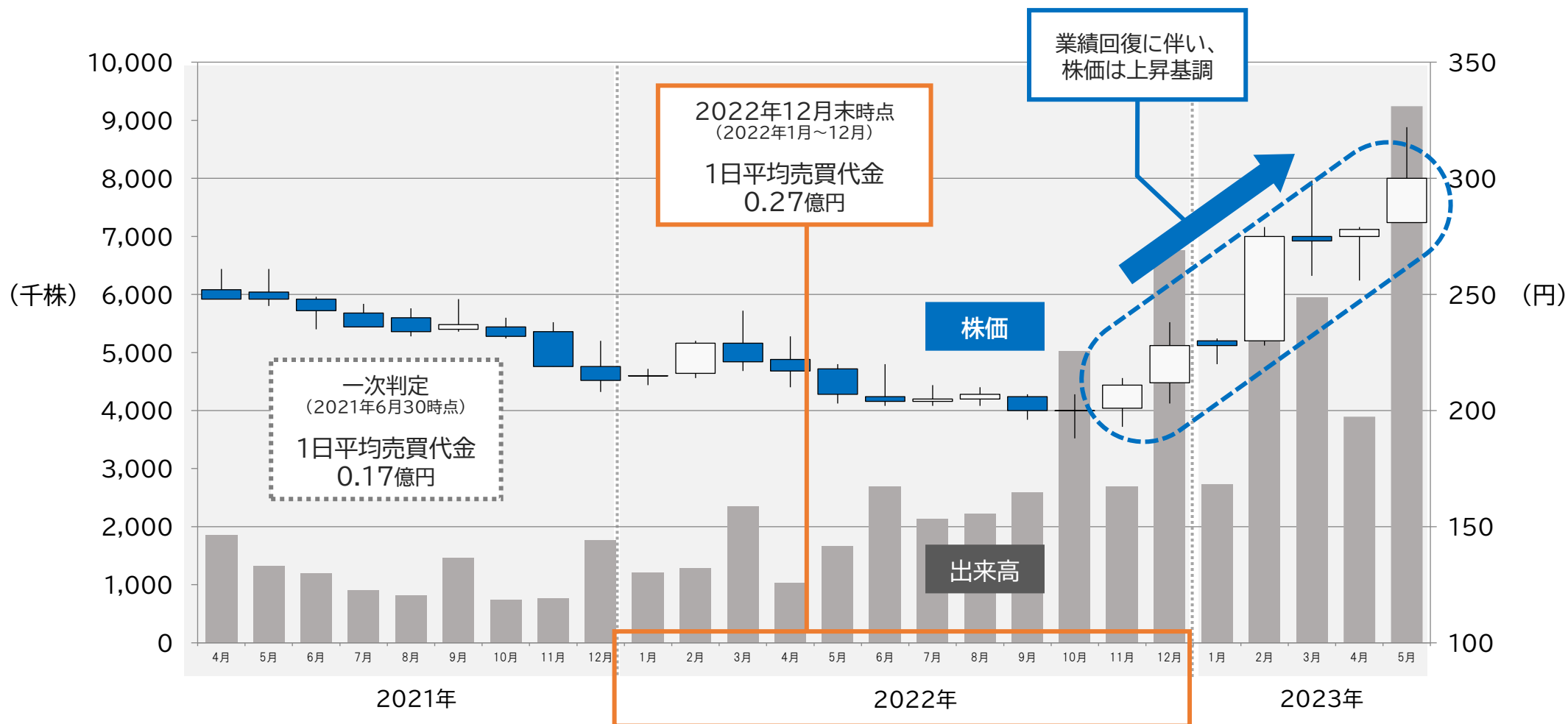
※2 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流網および本社の排出物に占める、グループ内リサイクル+有価リサイクルの割合

※3 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流網および本社の排出物のうち、グループ内リサイクル+有価リサイクル以外の排出物

Point

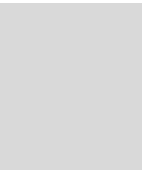
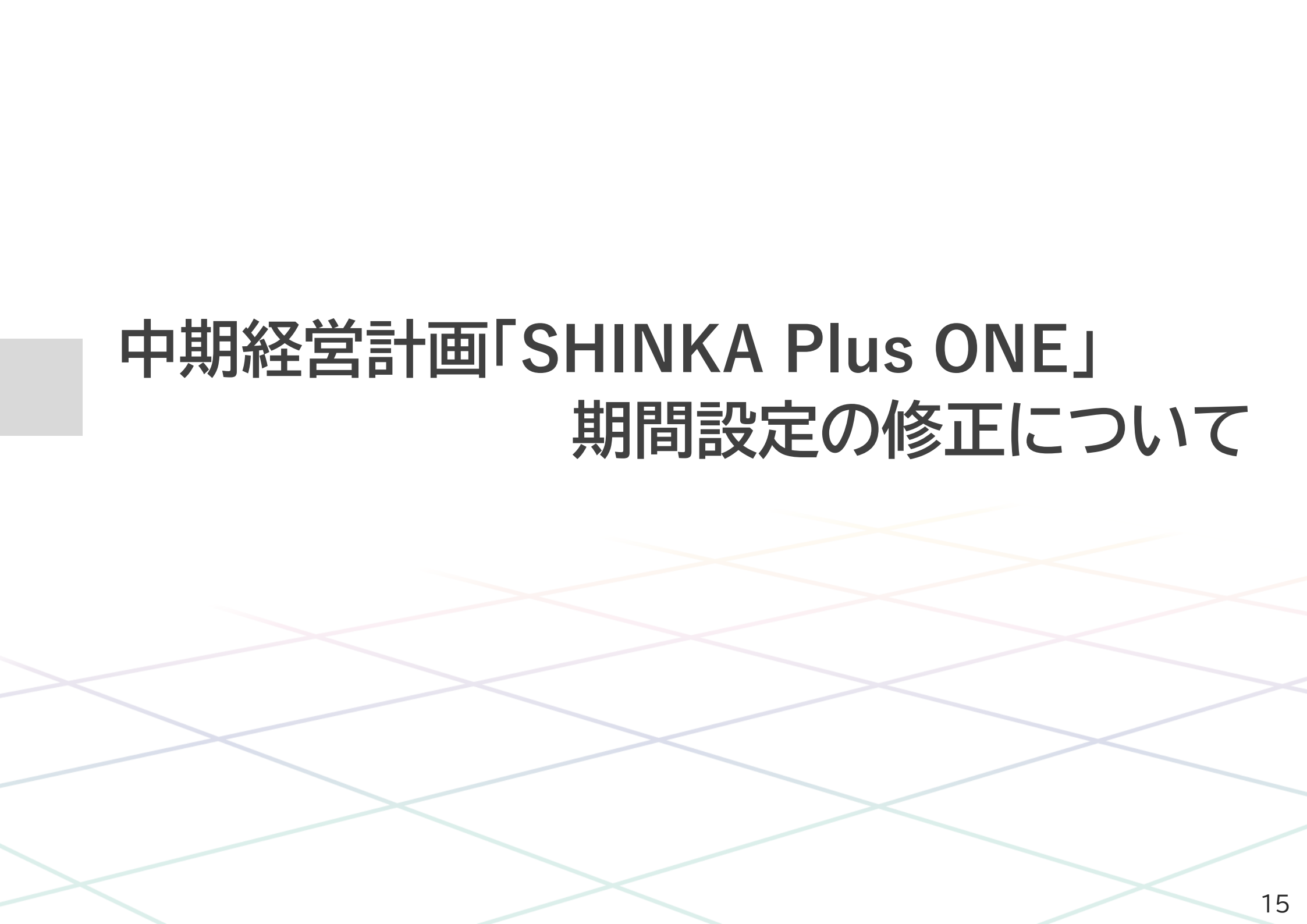
- 売上高回復に伴う生産量の増加や新規設備の稼働により、CO₂排出量は増加
今後、生産工程での省エネ活動に加え、太陽光発電の導入などの創エネ活動にも取り組む。
- 滋賀東リ(株)のタイルカーペットリサイクルプラントが本格稼働し、リサイクル率の向上並びに産業廃棄物排出量の削減に寄与。今後、更なる設備増強を図る。

株価・出来高(月合計)の推移



Point

- 流動性の高まりにより、1日あたりの売買代金は上場維持基準を満たす。
- 株価上昇により、流通株式時価総額は上場維持基準に近づく。
- 中期経営計画の推進による収益基盤の強化およびIR強化に努める。



中期経営計画「SHINKA Plus ONE」 期間設定の修正について

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」の初年度となる2022年3月期から長期化するコロナ禍に見舞われたことにより、策定当初と比べ足元の経営環境は大きく変化いたしました。サプライチェーンの混乱、原材料価格やエネルギー価格の上昇など、事業計画に大きな影響が出ていることを踏まえ、長期ビジョン実現に向けた第Ⅰフェーズで掲げた重点戦略を確実に推進すべく、計画の期間設定を修正することとしました。

事業環境の大きな変化

1. 成長の核となる3つの重要設備投資計画の遅延

- ・ 半導体不足や海運事情悪化、地政学リスクの高まり等の影響を受け、各種設備の納期と専門技師の派遣が遅れ、中期経営計画期間中の重要な設備投資計画が約1年遅れて進行しています。

2. 原材料調達環境の急激な悪化

- ・ 原油価格の高騰や海運事情の悪化、円安などの影響により、当社製品の主要原材料価格が高騰したことを受け、これまでの製造原価低減活動の強化とともに、後追いの形ではありますが販売価格の改定も実施し、収益改善への取り組みが現在進行中です。
- ・ 世界経済の減速や海運事情の悪化などにより、原材料サプライヤーからの供給が細り、サプライチェーンリスク軽減に対する取り組みを進めております。

「SHINKA Plus ONE」期間設定修正の内容(1)

計画対象期間の修正

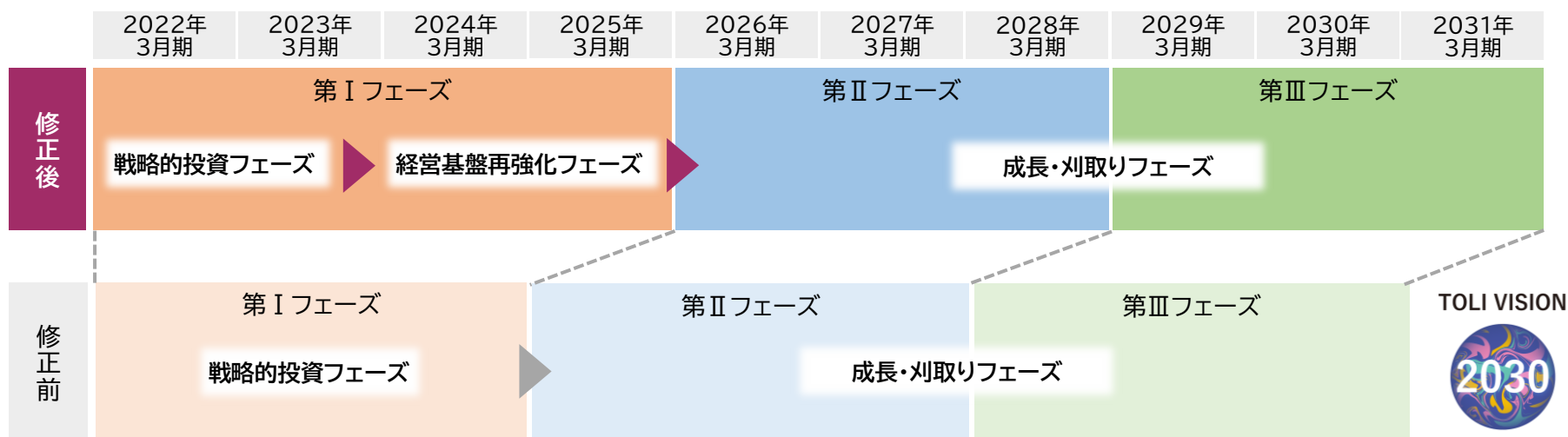
SHINKA Plus ONE
2021~2023



SHINKA Plus ONE
2021~2024

- 重要設備投資計画遅延の影響より、中期経営計画3ヶ年における各戦略の実行スケジュールを見直し、長期ビジョン実現に向けた第Ⅰフェーズで掲げた重点戦略を確実に推進するべく、**第Ⅰフェーズの対象期間を3ヶ年計画から4ヶ年計画に修正**します。
- 第Ⅱフェーズ以降は3ヶ年計画とし、2031年3月期を最終年度とする計画に修正します。

《長期ビジョン達成に向けたスケジュール》



「SHINKA Plus ONE」期間設定修正の内容(2)

進捗実績と重点目標指標

	2023年3月期 実績	修正後		修正前	
		中期経営指標 (2025年3月期)	長期経営指標 (2031年3月期)	中期経営指標 (2024年3月期)	長期経営指標 (2030年3月期)
売上高	95,230	<u>1,000億円以上</u>	1,000億円企業 としての安定的成長	950億円以上	1,000億円以上
営業利益	3,531	<u>35億円以上</u>	早期に60億円以上	30億円以上	60億円以上
R O E	6.5%	<u>5.5%以上</u>	10.0%以上	5.0%以上	10.0%以上
リサイクル率 ※1	79.8%	85%以上	90%以上	85%以上	90%以上
産業廃棄物排出量 ※2 (2019年度比)	20.5%削減	40%以上削減	60%以上削減	40%以上削減	60%以上削減
CO ₂ 排出量(スコープ1・2 ※3) (2020年度比)	2.5%増加	—	30%以上削減	—	30%以上削減

※1 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流網および本社の排出物に占める、グループ内リサイクル＋有価リサイクルの割合

※2 東リグループ国内主要生産拠点・東リ物流網および本社の排出物のうち、グループ内リサイクル＋有価リサイクル以外の排出物

※3 スコープ1：東リグループの燃料使用にともなう直接排出 スコープ2：東リグループが他社から購入した電気の使用にともなう間接排出

実行戦略

大型投資による独自品展開とコストダウンの実現

A コア事業の強靱化

B 伸びしろ事業の成長拡大

国内最大級ビニル床シート工場の誕生

新3号ラインが本格稼働



- ビニル床シート製造会社である広化東リフロアの新設第二工場にて、新3号ラインが本格稼働。(2023年1月～)
- 主力製品(NSシート、HITOEシリーズなど)の製造原価低減と新製品開発を目的とした当社独自のビニル系床材生産ライン。
- ビニル系床材分野における競争力をさらに高めていく。

実行戦略

10億円プロジェクト推進のための製販連携強化

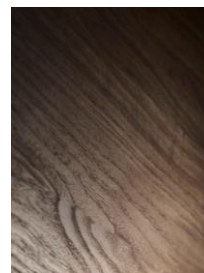
A コア事業の強靱化

高意匠壁紙「リアルデコ」の拡販



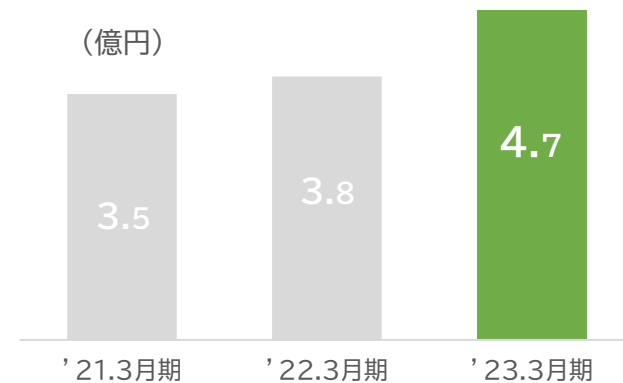
リアルデコは、高い印刷技術と特殊コーティング技術を活かし、高意匠・高耐久・不燃性能の両立を実現することにより、独自性の高い付加価値商品として販売量が拡大しています。

素材を生かした豊かな表情は、空間を美しく彩り、価値を高め、人々の暮らしを豊かに演出します。



売上高推移

(億円)



※) 10億円プロジェクトは、“明日の中核商品”として年間売上高10億円を超える主力商品へと育て上げるための製販連携プロジェクトです。



2024年3月期 業績見通し

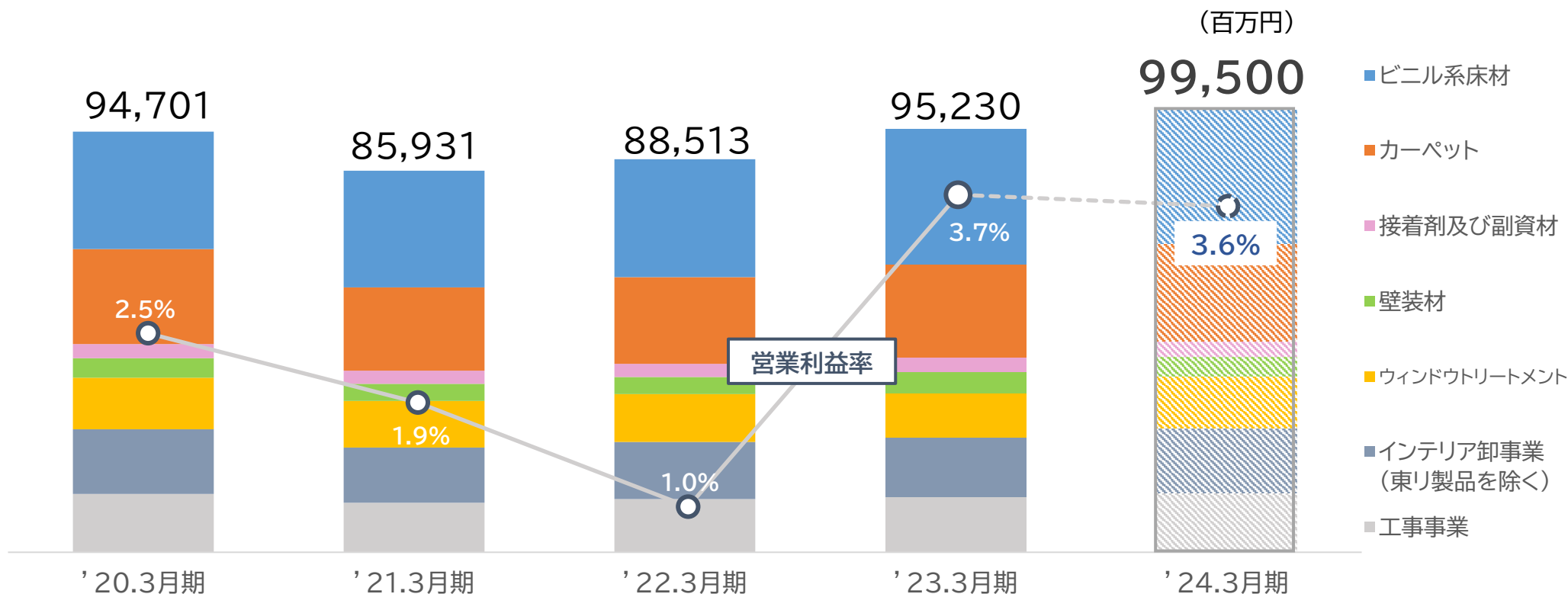
(百万円)

	2023年 3月期	2024年3月期			
	通期	上期	前期比(%)	通期	前期比(%)
売上高	95,230	45,000	5.3	99,500	4.5
営業利益	3,531	350	前期 －68百万円	3,600	1.9
経常利益	3,640	500	2722.6	3,900	7.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,562	300	前期 －67百万円	2,650	3.4

Point

- 新製品発売と市場への早期浸透策の実施により、販売数量拡大を図る。
- 足元では原材料価格の高止まりが続くと予想。
- 大型設備投資による減価償却費等が見込まれる。

連結営業利益率 及び 製品分野別連結売上高の見通し

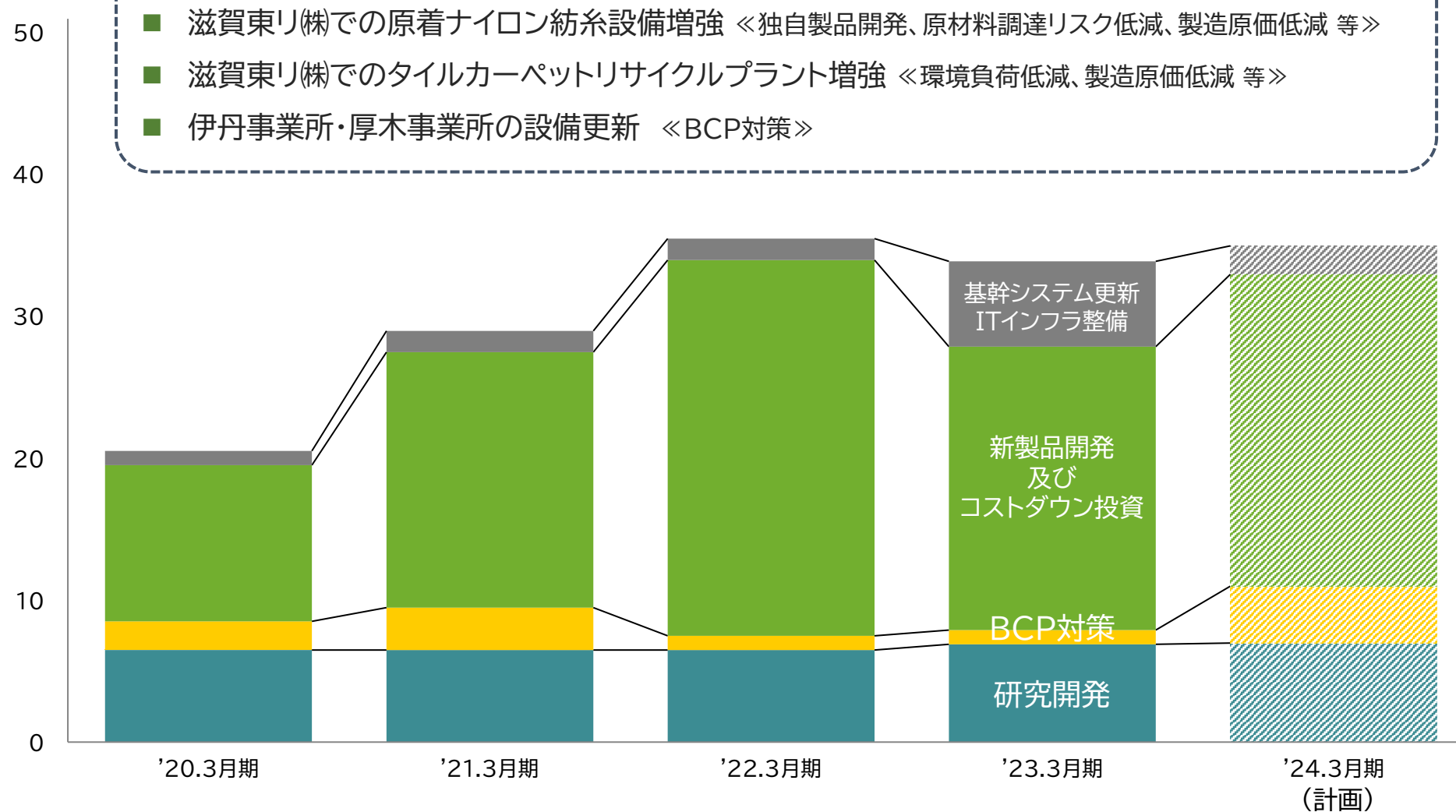


Point

- 昨年発売した「タフテックタイル」の市場浸透や、広化東リフロアでの新工場で製造するビニル系床材の新製品を中心に、販売数量の拡大を目指す。
- オフィスの新築・リニューアル市場に向けて、「GA3600-サスティブバック」をはじめとした環境配慮型商品の更なる浸透を図るとともに、今後回復が見込まれる宿泊施設市場に向けた販促活動を強化する。
- 高意匠壁紙「リアルデコ」の拡販をはじめ、好調に推移する壁装材の更なる拡販を目指す。
- エリア別のCR活動(※)を強化し、住宅向けカーテン見本帳「フフル」の認知度向上を図る。(※) コーポレート・リレーション活動

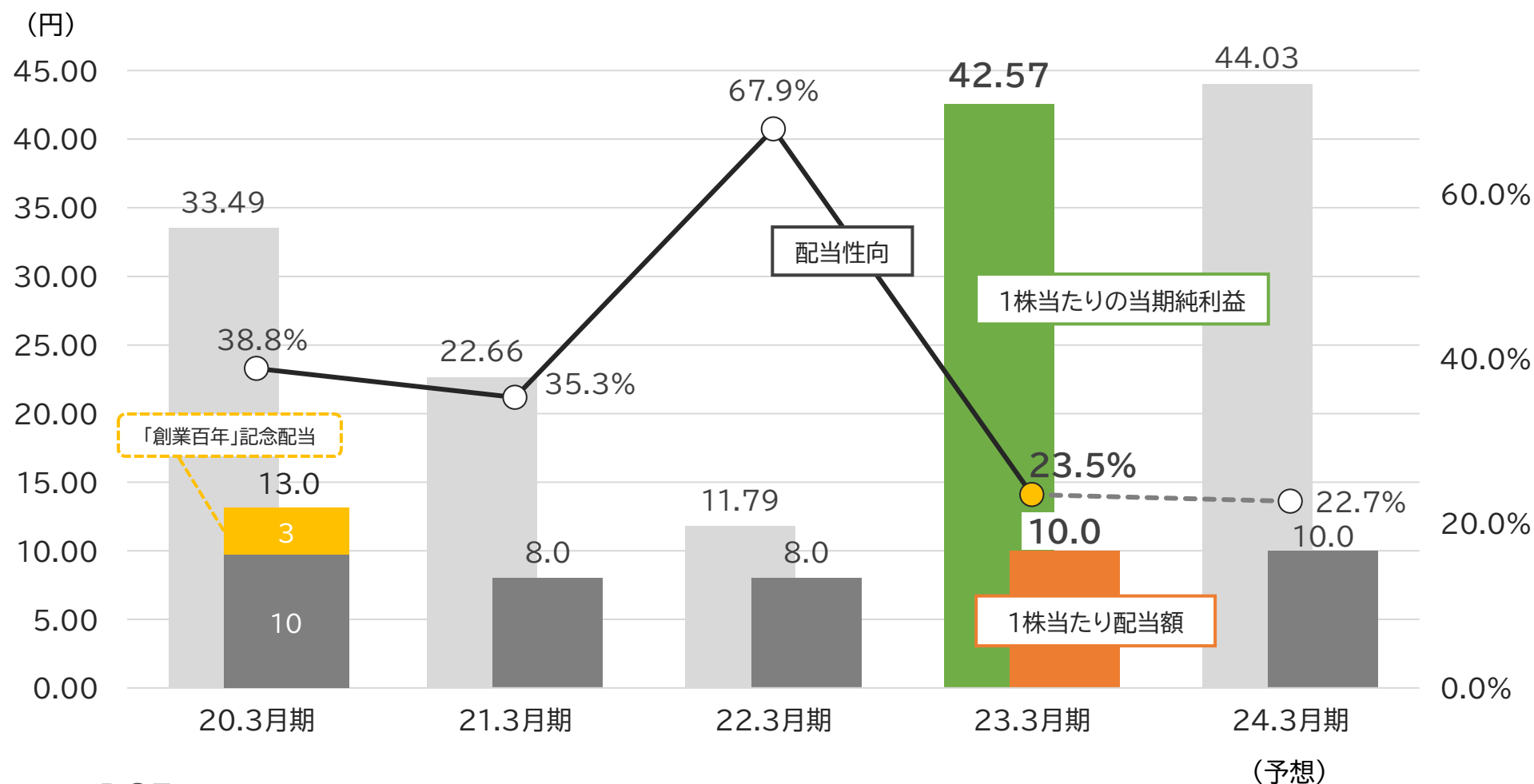
Point

(億円)



※経常的な設備投資は含んでおりません。

配当の状況(連結ベース)



DOE

20.3月期	21.3月期	22.3月期	23.3月期
2.2%	1.3%	1.3%	1.5%

IRサイトリニューアルのご案内



TOLI > IR情報



トップメッセージ



個人投資家の皆様へ



IR資料室

最新IRニュース

IRニュース一覧 >

2023.05.09 NEW

2023年3月期 決算短信(日本) 263,943 byte 263KB PDF

2023.05.08 NEW

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ 106KB PDF

2023.04.27 NEW

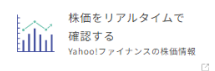
IR情報サイト 全面リニューアルのお知らせ 158KB PDF

2023.03.27

中期経営計画「SHINKA Plus ONE」期間設定の修正について 855KB PDF

2023.03.20

人事異動に関するお知らせ 151KB PDF



最新IR資料

最終更新日: 2023.05.09

2023年3月期 決算短信(日本基準)
(連結) PDF 257KB

一括ダウンロード(0.2MB) ↓

IRスケジュール

詳細はこちら >



トップメッセージ >

長期ビジョン・中期経営計画 >

事業等のリスク >

コーポレート・ガバナンス >

Point

1 シンプルで分かりやすいデザインへの刷新

2 レイアウトの見直しによる検索性の向上

3 企業情報や財務情報などのコンテンツ拡充

4 多様なユーザーデバイスへの対応強化



IRサイトはこちら



IRに関する
お問い合わせ先

東リ株式会社
経営企画部

e-mail

toli_ir@toli.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。



Appendix

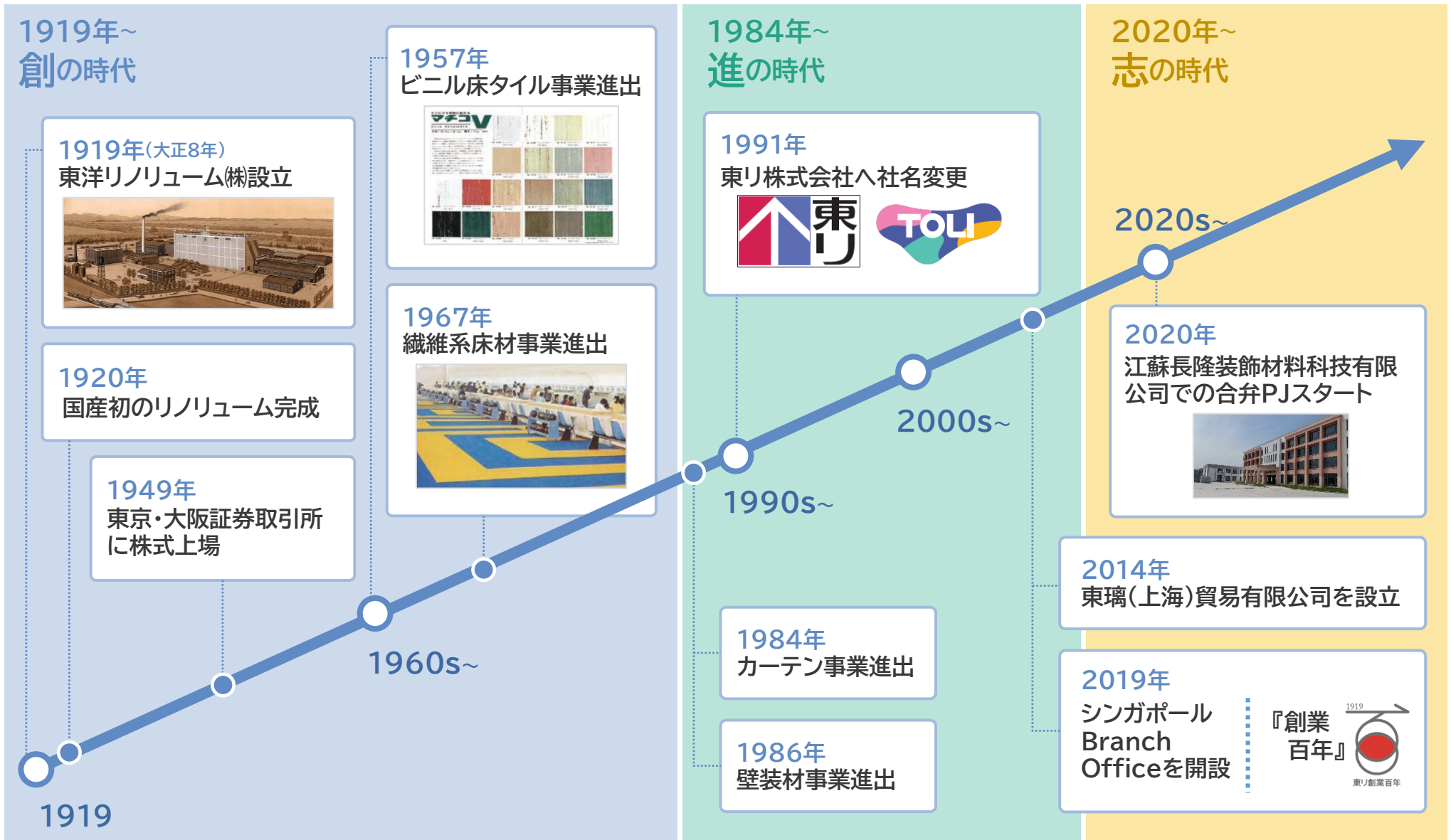
会社名

東リ株式会社

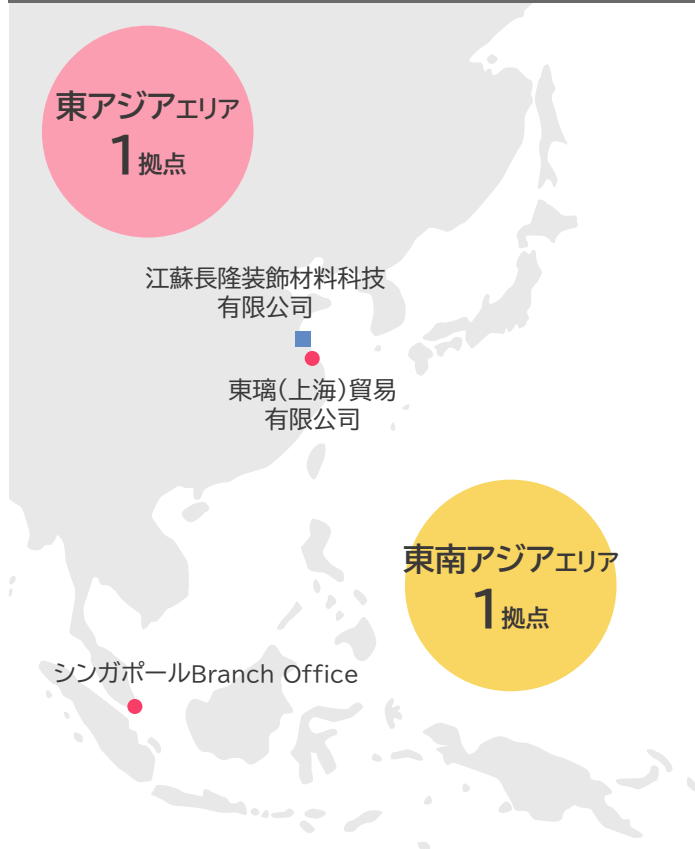


業態	インテリア商品の製造及び販売
創業	1919年(大正8年)12月1日
本社所在地	兵庫県伊丹市東有岡5丁目125番地
売上高	連結 952億30百万円(2023/3月期)
経常利益	連結 36億40百万円(2023/3月期)

親会社株主に帰属する 当期純利益	連結 25億62百万円(2023/3月期)
資本金	連結 68億55百万円(2023/3月期)
従業員数	連結 1,856名 個別 882名
証券コード	7971 東証プライム



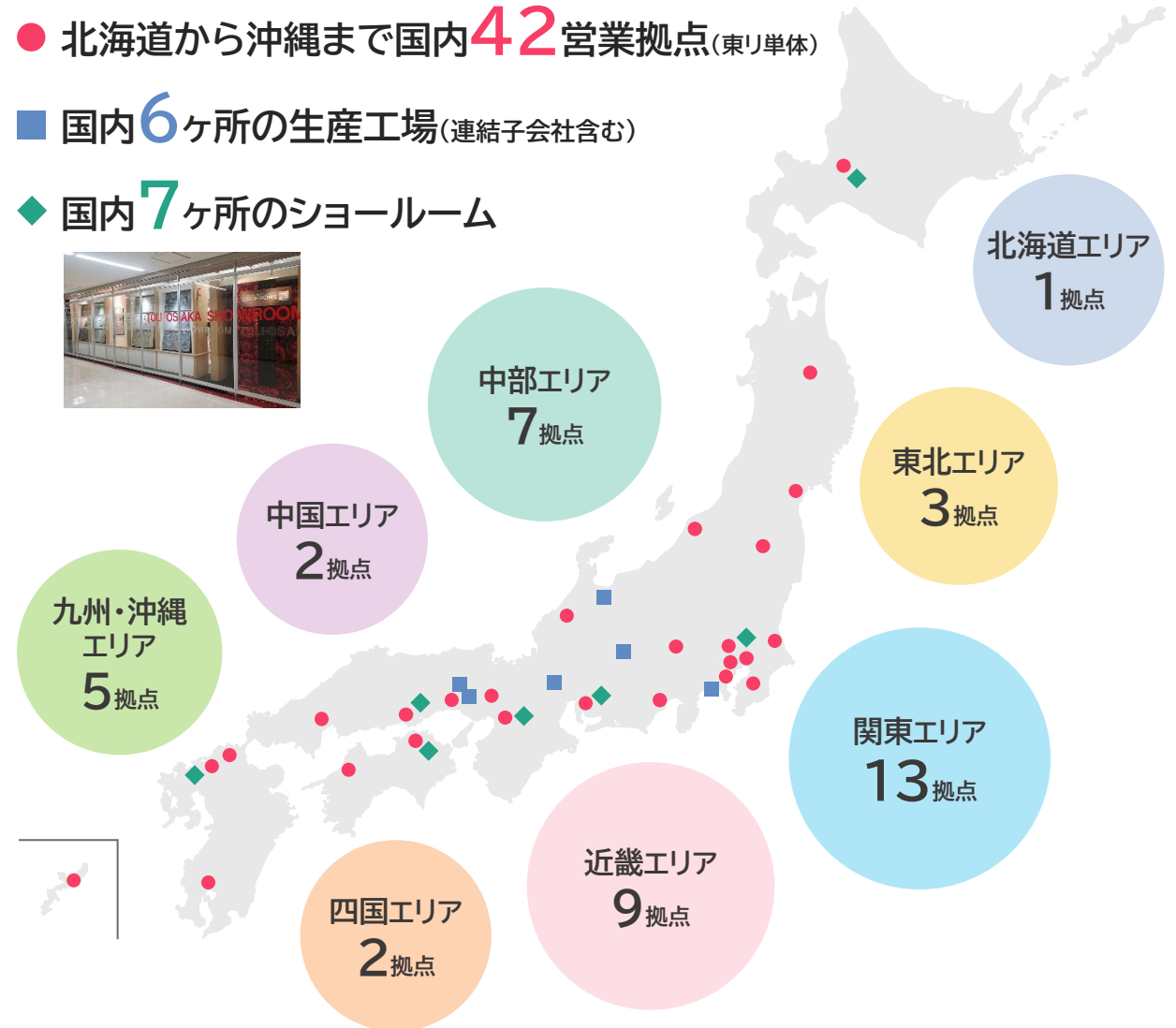
海外拠点



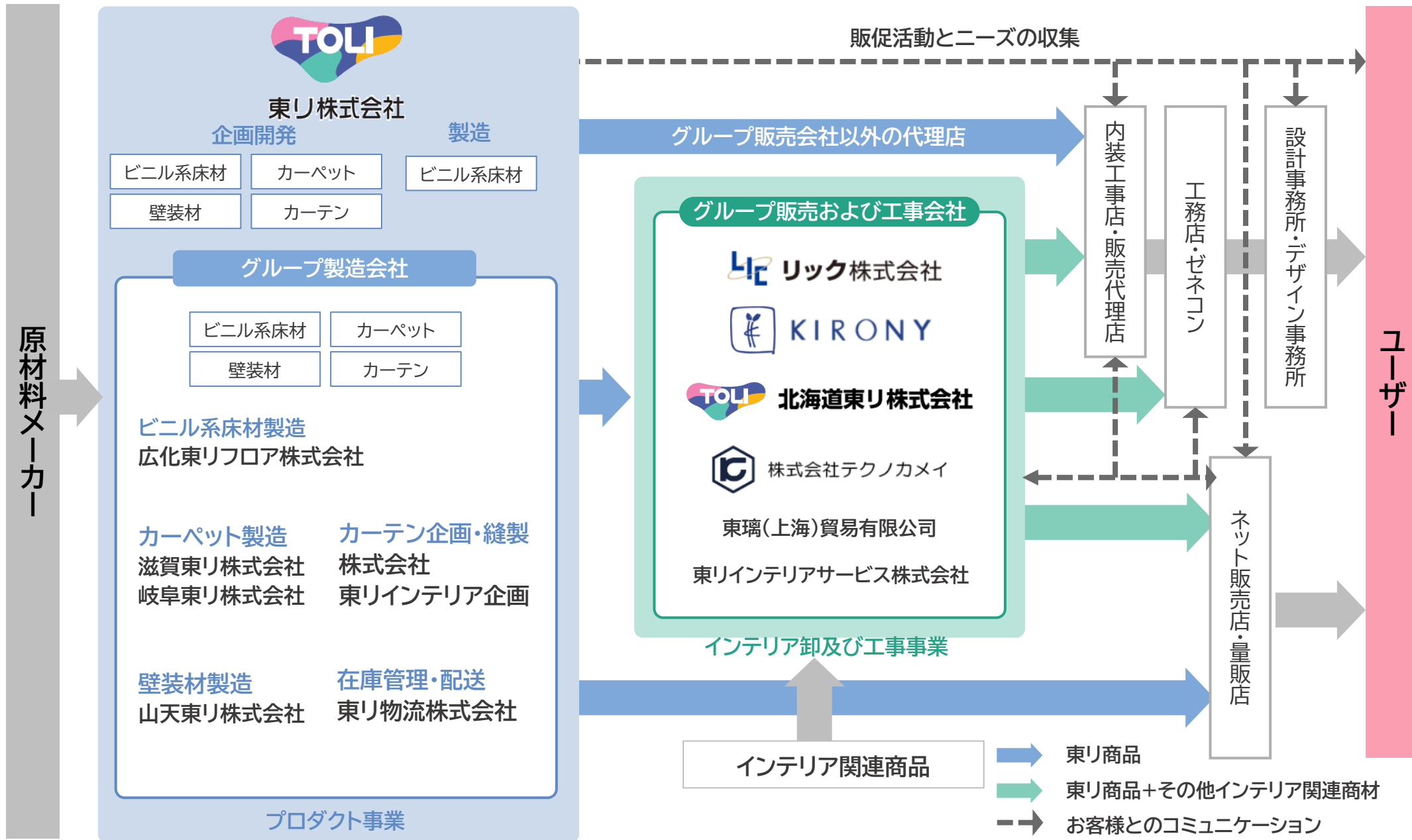
- 海外2ヶ所の営業拠点(連結子会社含む)
 - 中国に1ヶ所の生産拠点(持分法適用会社)
- 世界20の国や地域の販売代理店

国内拠点

- 北海道から沖縄まで国内42営業拠点(東リ単体)
- 国内6ヶ所の生産工場(連結子会社含む)
- ◆ 国内7ヶ所のショールーム



東リグループの事業体系



東リグループは、百年の歴史で培った信頼と技術をベースに、商品の企画・デザインから製造・販売・物流・施工・アフターフォローに至るまでをグループで一貫して推進し、さまざまなニーズにお応えし、更なる「信頼と技術」を蓄積することが強みです。

